

総本社

当社は、ディビジョンカンパニー制の採用により経営の機動性を高める一方、全社横断的な横軸機能を担う分掌役員を営業・経営企画・経営管理それぞれの部門に設け、総合力を最大限に発揮していく取組を進めています。

営業分掌

営業分掌役員 **横田 昭**



カンパニーという「縦」の組織の強化とともに、各カンパニーに横串を通して横の連携を促進し、新規案件の発掘等を行うことで、伊藤忠商事全体の利益極大化を図るとともに、取組方針の一元化のためにカンパニープレジデントに指示・指導する役割を担います。

新中期経営計画「Frontier+ 2008」で推進する全体利益の最大化に向けたカンパニー横断的な取組を一元的に統括・推進するのが、営業分掌役員をトップとする「ライフケア事業推進部」「先端技術戦略室」「開発戦略室」の総本社開発組織です。

ライフケア事業推進部

少子高齢化社会の到来で拡大が予想される医療関連・健康関連のビジネス領域で、新たなビジネス・市場の創出やカンパニー間の共同プロジェクトの立案や運営、収益化に至るまでの取組を推進します。2007年5月に機械カンパニーの旧メディカルソリューション部を母体に、他に関連する開発組織を統合して新設しました。

先端技術戦略室

バイオ・ナノテクノロジーをはじめとした先端技術の開発支援に軸足を置き、先端技術分野のシーズと市場ニーズのマッチング、先端技術の開発からビジネス化に至るまでの営業支援・オーガナイザー機能を果たしています。

開発戦略室

環境・新エネルギー、インフラ、消費関連といった戦略領域において、カンパニー横断型、先行布石型案件の開発・営業支援を行うとともに、地方自治体との提携を活用した中小企業関連ビジネス等を推進しています。また、「全社開発会議」と「横断案件推進委員会」の事務局でもあります。

経営企画

経営企画担当役員 **渡邊 康平**



経営企画担当役員の傘下にある業務部、広報部、IR室、IT企画部、事業部、海外市場部が、全社経営計画の策定、戦略推進及び支援を行っています。「Frontier+ 2008」では、重点施策である海外収益拡大に向けて、経営管理関連部署と一体となり、伊藤忠商事のグローバルな戦略展開を強力に推し進めています。

全社的な経営計画の企画・立案及び推進

業務部が中心となり、全社的な経営計画の立案を行うとともに、全カンパニーの経営企画に対して戦略の遂行を指示・指導しています。また、経営資源の配分や計画の進捗管理、業績評価、さらにはグループ事業戦略及びモニタリングも行うなど、伊藤忠商事グループ全体の司令塔としての役割を担っています。

戦略推進の支援機能

広報部及びIR室は社内外へのコミュニケーションを通じ、全社戦略を側面から支援しています。IT企画部は、IT戦略の立案及びITインフラの整備を行い、伊藤忠商事のグローバル展開を情報システム分野からバックアップしています。各カンパニーや事業会社が戦略を推進していく上でのより実務的なサポートを国内においては事業部が、海外においては海外市場部が担っています。また「Frontier+ 2008」では、海外市場部が「世界人材」の育成と「海外展開の加速」を人事部との連携により推し進めています。

経営管理

経営管理担当役員 丹波 俊人



総本社では、経営管理担当役員のもと、「財務戦略・リスクマネジメントの強化」や「CSRの推進」「内部統制の強化」「人材戦略」等を推進しています。当期は、経営管理の機能を一層強化すべく、「リスクマネジメント部」「営業管理統括部」を含めた8部体制を敷いています。

リスクマネジメントの強化

リスクマネジメント強化の一環として、前年度に経営企画に所属していたリスクマネジメント部を経営管理担当役員の管理下に置き、市場・信用・投資等といった会社が抱えるリスクを評価、網羅的に管理するリスクマップを活用し、連結ベースでの、より厳正なリスクアセットのコントロールに努めています。

内部統制、CSR、コンプライアンスの強化

内部統制の強化に向けて、CFO室を事務局とする開示委員会を中心に、財務報告を含む開示に関する内部統制の方針・施策の検討・立案、有価証券報告書等の内容の精度確認を実施する等、グループ全体の内部統制整備にあたっています。また、CSR・コンプライアンス統括部を中心に、CSR活動に対する外部への理解促進と社内への浸透を図り、積極的かつ主体的なCSRの推進に努めています。

世界視点での人材戦略

人事部を中心に、世界各国における事業展開を積極的に進めるために、各カンパニーや海外における人材戦略を有機的にネットワークさせて、グループ全体の人材力強化にあたっています。